

令和 7 年度 学校関係者評価報告書（令和 6 年度分）

令和 7 年度の学校評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和 7 年 10 月 7 日（木）

学校関係者評価委員：

企業委員 1 名、有識者委員 1 名、卒業生委員 2 名、高校関係者委員 1 名（計 5 名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1) 教育理念・目標 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。
(2) 学校運営 概ね適切に運営している。 校務システム（教務、募集）は新システムへ移行中だが、次年度には移行が完了する予定である。	新しい校務システムを活用し、出席管理などの業務について効率化を図る。
(3) 教育活動 概ね適切に運営している。 職員の高齢化が進み、退職などによる人員不足のリスクが想定される。	九州 4 校で連携し、カリキュラムの統一や生成 AI 活用推進などを進めている。 校務のマニュアル化を進め、属人化の解消を図る。
(4) 学修成果 精神疾患や修学意欲欠如による退学が増加している。特に精神疾患の対処が困難である。	退学や問題行動の未然把握・予防のため Hyper-QU を年に 2 回実施している。内容について分析及びアセスメントシートを作成し、学生指導に活用している。
(5) 学生支援 概ね適切に運営している。 卒業生への支援体制を整える。	同窓会の在り方について、同窓会参加者へのヒアリングやアンケート収集により改善・発展を図っていく。
(6) 教育環境 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。
(7) 学生の受入れ募集 全項目について適切に運用している。	問題なく実施されている。 ライバル校の特色を把握し、本校の強みをアピールできるよう募集活動計画を策定している。

(8) 財務 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。 校納金について、月額分納のルールを厳格化することで学費未納者の減少を図っている。
(9) 法令等の遵守 全項目について適切に運用している。	問題なく実施されている。
(10) 社会貢献・地域貢献 全項目について適切に運用している。	問題なく実施されている。

以上